

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式							
E142E012		近代文学史 (History of Modern Japanese Literature)						対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
選択	2	2 (R5入学生 以前3年)	教育学部	後学期	金5	日本語		単独							
担当 教員	氏名 藤原 耕作 E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533														
授業 の 概 要	学生が、明治以後の文学流派を年代順に一つ又は複数担当し、時代背景や流派の特徴について調べると共に、それを代表する文学作品を一つ取り上げ、調査・研究してきたことをレジュメにまとめ、発表する。それをもとに、全員で意見交換する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 日本の近代文学史について、基礎的な知識を習得する。															
目標2 文学作品を調査・研究する技術を身につける。															
目標3 調査・研究したことを資料にまとめ発表する。															
目標4 発表をもとに意見交換する。															
目標5 意見交換をもとに、自分の意見をまとめる。															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							5	3	2						
授業の内容															
1 はじめに 今期の予定 発表の仕方 担当決め															
2 坪内逍遙「小説神髓」															
3 二葉亭四迷「浮雲」															
4 日清戦争後の文学															
5 日露戦争後の文学															
6 自然主義文学 田山花袋「蒲団」															
7 夏目漱石の文学															
8 森鷗外の文学															
9 白樺派の文学															
10 耽美派の文学															
11 新思潮派の文学															
12 新感覚派の文学															
13 プロレタリア文学 小林多喜二「蟹工船」															
14 戦時下の文学															
15 全体のまとめ															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		課題や研究発表の準備を通して、知識の定着・確認をはかる。			工 夫 そ の 他 の									
	B:意見の表現・交換		研究発表や意見交換を通して、意見の表現・交換をはかる。												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		取り上げる作品を読み、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。(15h) 研究発表の準備をする。(10h)												
	事後学修		研究発表後の意見交換を受けて、作品を読み直し、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記す。(20h)												
	想定時間合計		45												
教科書	Moodleで資料を配付する。														
参考書	講義時に適宜指示する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題	70%										
	意見交換	10%										
	研究発表	10%										
	レポート	10%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											